

令和3年度 竹富町立西表小中学校 グランドデザイン

「学校教育目標」と「重点目標」

- よく考え学習する子
- やさしく助け合う子
- ねばり強くがんばる子
- 明るく元気な子

- 高い知性と創造力に富む生徒
- 豊かな感性と心情をもつ生徒
- 強い意志で行動する生徒
- 心身ともに健康な生徒

重点目標

自ら学び、考え行動する
児童生徒の育成

豊かな人間性

- 思いやりの心、自主性を育む
- ・認め合い支え合う仲間づくり
- ・自主性をいかした特別活動の充実

健康・体力

- じょうぶな体づくり
- ・一校一運動（縄跳び検定、部活動）
- ・自分の健康は自分で守る(食育、諸検査)

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・自ら学び、考えを伝え合う力
- ・主体的、協働的に課題解決する力
- ・課題に向かい粘り強く行動する力

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・自分の思いや考えを適切に表現できる
- ・状況に応じ主体的、協働的に課題解決の方法を見いだしている
- ・課題解決にむけ最後までやり遂げる

子供の実態

- 明るく素直で人懐っこい
- 学校や地域に誇りをもつ
- 学級・異年齢仲が良い
- 主体性、個人差

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- チーム対応「みんなでみんなを育てよう！」
- ・特支CDを中心に、担任、支援員、SC、保護者等と連携し、一人一人の教育的ニーズや特性等を把握し、支援する
(支援会議の開催)
- ・特別支援教育の視点をいかした学級経営、教科経営の充実

めざす子供の姿

- 自ら学び考えて実践できる子
- 自他を思いやり、認め合い、高め合う子
- 健康で明るい子

何を学ぶか

○教育課程の編成

- 9年間を見通した教育課程の体系化
- 基礎的・基本的事項の確実な定着
- 体験学習等との教科横断的な学習

どのように学ぶか

○教育課程の実態

- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業実践
・西の子授業スタンダードの実践・単元計画や学習評価
- 体験活動や実生活と教科との関連
- 計画的な補習指導、授業と連動した家庭学習及び質の向上

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 校内研修及び互見授業の充実
- 確かな学級経営、教科経営
- 小中連携（西表小中、白浜小）の推進
- 特支CDを中核とした特別支援教育の充実
- 全職員の共通理解、共通実践
- 家庭、地域との連携、協働

安心・安全を守る

- 保護者・地域・関係機関と連携した校内外の安全指導、安全管理
- 「自分の命は自分で守る」子どもの育成（安全教育・防災教育）
- 教育活動全体における居場所づくり、絆づくり

開かれた学校づくり

- 地域の人材、教材を生かした学校づくり
- 学校からの積極的な情報発信（各便り、学校ホームページ等）